

日ごろ、本ネットワーク（山形ネット）の活動にご協力ありがとうございます。

東日本大震災の発生を受けて、本ネットワークは被災した文化財・歴史資料を一つでも多く保全することを目的に関係各位のご支援ご協力のもと活動を展開しています。現在直面している課題、今後緊急に取り組むべき課題について、お知らせいたします。山形ネットに会員はいません。読んでおられる貴方がメンバー。皆さまの参加、ご支援をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

・ * * * * * 目次 * * * * *

【挨拶】 ご協力ありがとうございます

【活動予定】 12月以降の作業予定

宮城農業高校被災資料返還の取り組み

陸前高田・山形講演会関連事業 1月11日・12日

2013年3月定期会合

2013年度の活動について

【報告】 保全処理中の資料について

資料所在地調査の課題と展望について

資料所在調査に参加しての感想

各地でお願いしている作業の報告

陸前高田デジタル化PJ、宮崎歴史資料ネット

【事務局より】 ご協力のお願い

【挨拶】 ご協力ありがとうございます

日ごろ、山形ネットの活動にご理解とご協力ありがとうございます。この間、多くの方のご支援により、今も作業は続いています。活動に参加くださる皆さん、支えてくださる皆さんのお陰です。ありがとうございます。

さて、先号でもご案内の通り、山形県内の資料所在調査を開始しました。場所は中近世における最上川水運の要衝、また肘折温泉で知られる大蔵村です。地元の先生お導きのもと、地元の方の協力を得ながら学生から社会人まで多様な人々による作業です。皆さんの熱心なご協力をいただきました。

山形ネットは、どこにも組織的裏づけのない、民間有志のネットワークです。機関・個人としての上下関係を持ちません。あるのは水平関係だけです。障壁はありません。それだけに、日々の活動に力になっていただきたく、またいざと言うときにお力になりたいと思います。

いざと言うときに山形ネットが有効に活動できるかどうかは、皆様のご支援次第です。目標に向かって努力してまいります。ご支援よろしく申し上げます。

【問合せ】 山形文化遺産防災ネットワーク事務局

住所：〒992-0351 山形県高畠町大字高畠 1348の1 201号小林内

電話：090-5849-5532

メール：DQB00442@nifty.com

【活動予定】

【12月以降の作業予定】

◎ 東北芸術工科大学：12～1月は、おおむね、そのまま継続。木曜日夕方。

◎ 山形大学：12～1月は、おおむね、そのまま継続。月曜日夕方。

◎ 米沢女子短大：12～1月は、おおむね、そのまま継続。金曜日夕方。

上記3大学は2月より夕方の公開作業はお休みです。ただし、日中のボランティア作業は一部で継続します。

(2月以降の作業予定) 当ネットのブログ等でお知らせします。

◎ 上山作業場：大学作業場が休みに入る2月以降活動開始予定。

◎ 資料所在調査：3月以降、調査を再開します。

【冬・春季集中作業について】

宮城農業高校被災資料返還の取り組みに関わっての整理・収納、陸前高田被災資料の整理などに関しては、一時的に大量の作業者が必要なことも想定されます。集中作業のご案内については、ブログやメールでのお知らせなどで行います（なおメール希望の方は別記事務局までメールをお送りください）。

その節は、ぜひよろしくお願ひします。

【宮城農業高校被災資料返還の取り組み】 担当：宮農図書返還作業チーム

山形ネットがお預かりしている宮城県農業高等学校（以下「宮農」と表記）同窓会所蔵の図書資料はごく一部を除いてドライクリーニングおよび目録化が終了しました。また、破損が著しく、資料の素材と形態上、修理にも手間と時間がかかると予想される洋書の目録は、一点毎の現状写真を含めたエクセルデータとしました。

作業の進捗を踏まえ、10月に宮農の後藤教諭と話し合いを持ち、本年度内の資料返還に向けて相互に作業を進めることとしました。返還方法と今後の大まかなスケジュールは以下のとおりです。

■返還方法

- ① カビ等の因子が残存したままの資料を無酸素パック（モルデナイベ）に封入しカビ等発生リスクを最小の状態にする。
- ② パッキングした資料は輸送と収納の利便性を考慮して段ボールに収納する。また、今後の資料の整理作業を考え、段ボール箱には目録と収納資料が対照可能な番号付けを行う。

③ 米短から宮農への資料を輸送し配架する。

■スケジュール

12月 お預かりしている全資料を米短に集約し残作業を実施

1月 宮農後藤氏と返還作業チームで具体的な資料の封入・収納の作業方法について協議
⇒作業計画立案、必要物品の調達

3月20日以降の約4日間（1日は予備日）封入・収納・輸送・配架までを実施

3月の作業は計画の素案ができ次第、皆様にお声がけをいたします。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【陸前高田・山形講演会 1月11日開催】 担当：山形大作業チーム

山形大学人文学部学術講演会「博物学の巨人・鳥羽源藏が遺したもの ―陸前高田の文化財レスキューを通じて見えてきたこと―」を開催します

1月11日（金）、山形大学人文学部に陸前高田市立博物館の熊谷賢さんと及川甲子さんをお招きして、講演会を開きます。詳細は、別添のチラシをご参照下さい。

今年の6月1日、私は山形ネットのメンバーとともに陸前高田市を訪れました。私にとっては初めての訪問です。被災資料の現状などについて熊谷さんと意見交換を行い、その際に、山形でご講演いただくようお願い申し上げました。そしてこのたび、その講演会がようやく実現する運びとなったのです。

熊谷さんとの打ち合わせが終わった後、私たちは陸前高田の市街地を訪れました。陸前高田市は、その機能のほとんどが沿岸の低いところにあったため、いわば町全体が津波によって壊滅してしまいました。見渡すかぎり何も残っていない町を前にして、私には言葉がありませんでした。

さら地となってしまった場所には、小さな花が咲いていました。つい最近、「花は咲く」という歌を知り、その中に「花は咲く いつか生まれる君に 花は咲く 私は何を残しただろう」という歌詞があって、そのときに見た花のことを思い出しました。

震災以降、山形ネットが継続的に行っている被災資料のクリーニング作業を通じて、私は初めて鳥羽源藏という博物学者の存在を知りました。そして鳥羽先生の残した膨大な資料は、東北の一地域で学問と向き合っている私に、勇気を与えてくれたのです。

地域社会に根づいた学術文化を、絶やしてはなりません。救出された鳥羽先生の資料群は、私があの時に見た、一輪の花のようなものかもしれません。いつしかその花が、人間の生活の風景の一部となることを望むように、鳥羽先生が残した資料も、今後の学術研究でふたたび活用される日が来ることを望んでやみません。

今回の講演会は、そのための第一歩です。どうか多くの方々に、この第一歩を見とどけてもらい、できれば、一緒に歩いていただくことを、私は希望しています。

講演会「博物学の巨人・鳥羽源藏が遺したものー陸前高田の文化財レスキューから見えてきたことー」

講師：熊谷 賢氏（陸前高田市立博物館 主任学芸員）

及川 甲子氏（陸前高田市立博物館 学芸員）

日時：2013年1月11日（金） 16:20～18:30

会場：山形大学人文学部1号館103教室（山形市小白川町1-4-12）

主催：山形大学人文学部 ※入場無料、事前申込不要

問い合わせ先：山形大学人文学部 三上喜孝

(023-628-4240、mikami@human.kj.yamagata-u.ac.jp)

【陸前高田・山形情報交換会 1月12日開催】 担当：事務局

上記11日の講演会に引き続き、翌日12日に、資料レスキューに関する情報交換会・協議の場を設けます。激甚被災地の被災文化財の実態、これまでの・これからの課題を、共に歩んできた陸前高田・山形双方のメンバーで話し合います。興味のある方ならば、どなたでも参加できます。

被災地の博物館で起きたことをしっかり受け止めましょう。これから私たちが被災地に向けて、私たちの未来に向けて、遠からず起きるであろう日本列島の規模災害に向けて、何をなすべきか？を考えるために。

「～バトンをつないで～情報交換と協議～ 陸前高田市」

話題提供：熊谷 賢氏（陸前高田市立博物館 主任学芸員）

及川 甲子氏（陸前高田市立博物館 学芸員）

進行：三上 喜孝氏、小林 貴宏氏（以上、山形ネット）

日時：2013年1月12日（土） 9:15～12:00

内容：9:15～10:00 1月11日の資料レスキューに関する講演VTR上映

10:00～12:00 質疑・フリートーク

会場：山形県立博物館講堂（山形市小白川町1-4-12）

主催：山形文化遺産防災ネットワーク ※入場無料、事前申込不要

問い合わせ先：山形文化遺産防災ネットワーク 小林貴宏

(090-5849-5532 DQB00442@niftv.com)

【2013年3月定期会合】

2013年3月定期会合＋研修会を下記の通り開催します

日時：2013年3月16日（土）13:00～

会場：山形県立博物館

内容：①年次作業報告、会計報告、②講演会、③コメント、夕刻、④2013年活動予定、⑤卒業生慰労会

講師・講演会内容：交渉中

【2013年の活動について】

山形文化遺産防災ネットワークは、2013年も活動を継続します。県内の資料所在調査、被災資料の保全処置、更に来るべき大規模自然災害に備えるための取り組みを続けてまいります。どこがやろうや、やめようが、個人参加の山形ネットは関係ありません。やれることを、やれる範囲で、取り組んでまいります。

皆様のご参集と、ご支援を引き続き求めてまいります。

ひとつでも多くの文化遺産を未来へ送るため、この一点に結集する仲間と、共に行動してまいります。

【活動報告】

【保全処理中の資料について】 担当：事務局

◎ 宮城農業高校関連

クリーニングは、一部取り残しを除いて終了（経過観察中、サンプルを除く）。現在、目録化もほぼ終了。クリーニング～台帳化の作業は12月いっぱい終了を目処とする。年明け後は台帳の整理、収納方法・保管環境の整備の検討を行う。（前記参照）

◎ 陸前高田市関連

関連資料のうち個人研究資料のクリーニング・保全処置はほぼ終了。ダンボール数箱を残すのみ。今後は新聞資料と一部古文書の作業に入る。個人研究資料のうち、雑誌書籍の目録を作成中、作成後はデータ処理をして再整理する予定。目録作成については宮崎歴史資料ネットワークさんに協力いただいています。そのほか書簡、はがき、名刺、研究メモなどの整理。青インクのため水洗いが困難と思われる資料については全点撮影をし、台帳化への作業を進めている。

◎ 宮城資料ネット関連

乾燥作業を終え、一枚ずつ展開を始めています。臭いがきつく、痛みのひどいものもあります。乾燥し、開くことで、予想以上にがさが増えました。今後の処置について、宮城資料ネットと相談する必要があります。予想以上に乾燥に時間がかかり、ご迷惑をかけてしまいました。

【資料所在地調査の課題と展望について】 担当：資料所在調査チーム

大蔵村を調査地域とし、9月23日に肘折地区、10月27日に白須賀地区等を訪れ、資料の保管状況を確認しました。所有者様からの聞き取りや実見した記録は調査カードにまとめ、資料が被災した際に救出の基礎情報とします。調査に伺ってみると様々な種類の資料がありました。有事に適切な処置をするためには、得られた情報をしっかり管理し、様々な専門家と情報共有することが必要です。この調査カードを県内の公共機関で保管してもらい、あるいは調査結果を活用して、災害後に教育委員会や研究団体と協議する場を設けたいと考えています。



【資料所在調査に参加しての感想】 文章：菅原慧さん（村山市在住）

今回、初めて山形ネットの活動に参加しました。三班に分かれて大蔵村での資料所在調査ということで、私は記録を担当しました。方言で矢継ぎ早に言われメモを取るのので精一杯なときもありました。話を聞いたり現物を確認していたりすると、あれもこれも必要な情報かもしれないと思えてきて、手当たり次第に書きこんだときもありました。あの調査書をまとめた方はさぞまとめにくかったろう……と反省しています。様々な歴史資料に触れ探究心が刺激された反面、私自身もっと文化財や歴史・民俗資料の名称や通称を詳しく知っていれば、より深くより正確に記録出来たのではないかと感じた初活動でした。

特に印象に残っているのはAさんのお宅で調査した土器です。模様や装飾がそのまま残っているもの、傷もなく発掘されたものが数多くありました。また、Aさんもこれを機に土器に興味を持ったようで、亀裂の直し方や乾燥や衝撃に負けないような保存方法を調べ、実践していたようです。聞いているこちらまで楽しくなってくるような調査でした。

その一方で、保存に対して必ずしも乗り気な人たちばかりではないということも実感しました。興味がない・身近に沢山あった物だから価値が感じられない・持っけていても保存方法がわからない……など色々理由はありますが、そうした場合にどう対処すべきなのか考えてしまいました。

このように、資料保存に対する考えは千差万別です。積極的な方に対してはその思いに報えるような、消極的な方に対しては押しつけではなく手助けとなれるような活動が出来ればと思います。

【各地でお願いしている作業の報告】 担当：事務局

◎陸前高田被災資料デジタル化プロジェクト（略称：RD3）実行委員会さん

こちらのプロジェクトの皆さんには、陸前高田市立博物館鳥羽源蔵資料の中から出てきた写真について、お世話になっています。こちらの皆さんは、写真やカメラの専門家の方を中心に、一般市民の皆さんと以下のような作業をされています。

1. 被災資料の安定化処理
2. 写真資料のデジタル化
3. 台帳・周辺情報・資料リストほかのデジタル化
4. デジタルデータのクラウド・システムへのアップロード

被災した写真を、デジタル化して使いやすいようにして保存する取組みだそうです。

日、火、木、土と作業されているとのこと、しかも作業時間がとても長い、熱心な皆さんです。

山形ネットのメンバーの数人も作業に参加経験があります。事務局小林も数回参加させていただいていますが、何度聞いても全体像を把握するのは難しいですし、写真と言うデリケートな資料の扱いには緊張します。コンピューターとか、精密な機械とか、道具もすごいんです。

ところで、RD3は、おしゃれな方、かっこいい方ばかりの都会風です。作業の感じも会話も、

おしゃれな感じですが、でも、お話しをしていると、同じ資料救済仲間のおいがします。居心地が良くて、私も長居してしまいます。とても素敵な皆さんなのです。作業場の周辺は繁華街で、たくさんの飲食店もあります。100万人も人が居る町で、様々な楽しいこともあるところで、夜遅くまで作業を頑張っています。

RD3では、常設の展示スペースがあります。ぜひ、覗いてみてください、そして機会があれば参加をご希望してみてください。歴史系・文化財系に偏りがちな山形ネットとの違いがたくさんあり、学ぶ点が多くあります。なお、「作業に参加すれば」、おいしい中華料理屋さんも教えてくれます。ぜひ！RD3の作業場へ。

h p <http://tsunami-311.org/>



(c) RD3-project

◎宮崎歴史資料ネットワークのみなさん

詳しくは次号でご報告していただきますが、宮崎歴史資料ネットワークの皆さんにも資料の整理などをおねがいしました。この作業が完了すれば、救済された鳥羽源蔵資料のうち膨大にある書籍・雑誌の全貌が明らかにすることができ、また整理作業が簡便になります。

宮崎歴史資料ネットワーク山内利秋さんからお写真を提供いただきました。次号にて、ご報告いただくことにしております。以下山内さんからです。

『宮崎歴史資料ネットワークでは、山形文化遺産防災ネットさんからの呼びかけに応じ、資料の電子情報化のお手伝いを行いました。ようやくその作業が完了したところです。写真は、私の所属する九州保健福祉大学での学生達による作業の様子です。』



宮崎の皆さん、ありがとうございました。

【事務局より】

山形ネット活動へのカンパを引き続きお願いしています

日頃から本活動にご協力いただきありがとうございます。

また、活動資金となっておりますカンパには県外からも引き続き多くの支援をいただいております。改めまして、お礼申し上げます。

3.11 発生から1年9か月が過ぎ、ごく一部ではありますが、被災地支援活動も返還を含めた協議などを進める段階になっております。加えて、足元である山形県内の文化財について、防災対策を目的とした所在調査を地元の皆さまと始めております。

今後とも変わらぬご支援をいただけますようお願いいたします。

金融機関：庄内銀行（金融機関コード：0121）

支店名：宝田支店（店番：127）

振替口座番号：普通 1029478

加入者名：山形文化遺産防災ネットワーク 事務局

カナ氏名：ヤマガタブンカイサンボウサイネットワーク ジムキョク

山形ネット協力の呼びかけ

お一人お一人の「片手間の片手間を！」文化財防災の取り組みを山形ネットが呼びかけたのは2006年11月のチラシでした。東日本大震災が発生し、新潟福島水害も起こりました。

それでも、6年の間、全く進歩のない呼びかけを並べます。お一人お一人の「片手間の片手間」が届く範囲でのご協力を求めます。

- ① 保全処置に関する作業へのご協力を！
- ② 資料所在調査事業への参加・ご協力・ご指導を！
- ③ 事業継続のための資金（カンパ）、物資のご提供を！
- ④ 諸活動、資金（カンパ）・物資提供呼びかけのご協力を！
- ⑤ 活動についての展示、文化財防災・救済に関する講演会の開催について、お声掛けを！

おわりに

今回は、山形ネットの作業場以外の場所で取り組んでいただいている仲間たちのご紹介をしました。このほかにも、全国には多くの仲間たちが、5年、10年、10数年と言う時間をかけて、文化財を災害から救い出し、守るための取り組みを地道に進めています。

毎日、こつこつやっけてゆきます。気が向いたら、立ち寄ってみてください。「1人でもやる」山形ネットは、続いております。

制度で、法律で守れる文化遺産もあるでしょう。しかし、それで守れない地域の文化遺産は無限にあります。いずれにせよ全ての資料は人の手で守ってゆくしかない、それを引き継ぐのは世代世代の手によるリレーにほかなりません。

当たり前のことを、今年もやったように、来年もまた。では、お待ちしております。